

コレイイネ

足の爪切り

爪切り屋・足楽



年々、足の爪切りが苦行になってきた。足を曲げるのも腰を曲げるのも、老眼の目を酷使して爪を見つめるのも、ツライ。はてさてどうしたものかと悩み始めたころ、見つけたのがこちら。足の爪切り専門店「爪切り屋・足楽」。

現在、フランチャイズも含めて首都圏に4店、関西に2店あり、いずれもドイツ式フットケアスクール「アカデミーオブトータルセラピー」の卒業生がスタッフ。学院長の中村美紀さ

店長の今村佳子さん＝いずれも東京都中央区の爪切り屋・足楽日本橋三越前店で

んがドイツでポドローギー（足病学／医療的フットケア）を学び、日本の法制度やニーズに合わせて再構築した「フウハウ」「Pポドロジー」を教えている。看護師、介護士、エステティシャンなど、本業に役立てようと受講する人が大半だが、フットケアを専門的に志す人も増えつつある。

訪れたのは直営店の日本橋三越前店。店長の今村佳子さんに担当してもらい「足爪ケア40分」（4400円）を体験。まずは5分間の「足浴」で爪をやわらかくし、爪周りを洗浄。挟まりがちな「ゴミ」丁寧除去してくれる。爪切りはまず「角用ニッパー」で爪のサイドを整えてから「大ニッパー」で全体をカット。爪の形はトウモロコシの粒のように四角いが角を落とした形

足のお悩み 早めの一步を

状態が理想で、長さは指先を触った際、爪と皮膚を同時に触れるくらいがベストだという。「爪の角がひっかかりづらくなり、指のふんばりが利くんですよ」（今村店長）

やすりで断面を整え、洗浄後、ローションで保湿し、終了。かゆいところに手が届くような施術で、仕上がりは満足。痛みもなかった。

メニューは爪切りだけでなく、角質や巻き爪のケアもある。客層は8割が50歳以上で男女比は3対7。多くは足爪にトラブルを抱えており、こは駆け込み寺のような存在になっている。例えば、加齢により爪が厚くなり、自分で切れないから放置して変形し、痛みが出て、まともに歩けなくなることもあるとか。たかが爪、されど爪…。ケアするなら早めに一步を踏み出したい。（村手久枝）



明るく清潔感のある店内

メモ 日本橋三越前店：中央区日本橋室町1の9の4 井上第三ビル2階。11～19時（土日祝10～18時）。火曜休。都内には銀座、人形町にもある。出張料金を払えば、自宅でも施術可。☎03・6826・1906